
福祉社会学会ニューズレター 第 63 号

Japan Welfare Sociology Association Newsletter No.63

<http://jws-assoc.jp/>

E-mail: maf-ws@mynavi.jp

目次

- * 事務局からのお知らせ
- * 理事会報告
- * 新入会員紹介

* 事務局からのお知らせ

本年7月に予定されていた福祉社会学会第18回大会の延期により、大会時の理事会と総会も延期となりました。理事会は、7月12日(日)にオンラインで開催が行われ、総会は、今年度中にオンラインあるいは書面審議で行われる予定です。

その関係で、理事会の報告が大変遅くなりましたこと、謹んでお詫び申し上げます。

* 理事会報告

日時：2020年7月12日(日) 10:00~12:30 ZOOMによるオンライン開催

出席：阿部彩, 天田城介, 稲葉昭英, 上村泰裕, 金成垣, 須田木綿子, 高野和良, 田淵六郎,

富江直子, 畑本裕介, 平岡公一, 平野寛弥, 宮垣元, 山田昌弘

欠席：森川美絵

議題

0. 冒頭, 平岡会長より挨拶があった。

1. 阿部研究委員長より報告および提案があった。

- ・新型コロナウイルスの感染拡大のため第18大会が延期となったことを受け、第18大会の今後の取り扱いについての提案があった。審議の結果、大会シンポジウム(テーマ:「教育と福祉」)は来年度の第19回大会に延期することとするが、会員の報告機会を確保すべく、秋に自由報告のみのオンライン大会を11月15日(日)に開催することが決まった。

- ・第 18 回大会で行う予定であった会長講演は、第 19 回大会で行うこととなった。
 - ・今後、会員による自主的な研究会を支援することとし、1 回目として、第 113 回 SPSN 研究会を、「福祉社会学会第 50 回研究会」とすることが決まった。
2. 天田編集委員長より報告および提案があった。
 - ・『福祉社会学研究』第 17 号が無事に刊行された。
 - ・第 18 号の編集状況についての報告があった。特集企画（「戦後福祉のナラティブ」）の論文（4 本）については 10 月 31 日締切で執筆依頼が終わり、自由投稿論文については来週中に原稿募集のアナウンスを行う予定であることが報告された。
 - ・英文ネイティブチェックによる論文の質向上のためのネイティブチェックの外部委託についての提案があった。審議は次回の理事会で行うこととなった。
 - ・英文論文を投稿可能とするための投稿規定の改定、投稿者に情報集約して送付してもらうための執筆要項の改定についての提案があり、承認された。その内容を反映して第 18 号の原稿募集のアナウンスが行われることとなった。
 3. 社会学系コンソーシアム評議員の山田理事より、報告および提案があった。
 - ・2020 年 1 月 11 日に第 6 期評議委員会とシンポジウムが開催されたこと、委員会で山田理事が理事（組織国際担当、任期 2 年）に選出されたことが報告された。
 - ・コンソーシアム担当追加 1 名の選出が求められ、平岡会長が選出された。
 4. 稲葉学会賞選考委員長から報告および提案があった。
 - ・選考委員案が提案され、承認された。
 - ・学会賞選考のための今後のスケジュールが報告された。
 5. 平岡会長より 2020 年活動方針（案）が提案され、承認された。
 6. 平岡会長より顧問推薦についての提案が行われ、承認された。
 7. 事務局より、新規入会者の承認、大会者、会員状況について報告があった。
 - ・新規入会者 11 名の承認と退会者の確認が行われた。
 8. 平岡会長より、総会の開催および運営についての提案があった。
 - ・新型コロナウイルスの感染拡大のため延期となった総会を書面審議方式で行うことが決まった。
 9. 事務局より、2019 年度決算案および 2020 年度予算案、そして総会の議案および資料一式の準備が遅れていること、後日メールで審議を行う予定であることが報告された。
 10. 事務局より、次回の理事会の日程についてのお知らせがあり、第 19 回大会の当日（11 月 15 日、大会終了後）に行うことが決まった。

* 新入会員紹介

(Web 版では省略)